

製品名: EAAT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21573**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:60kD;Observed MW:59kD

抗原情報

遺伝子名	SLC1A3
別名	SLC1A3;EAAT1;GLAST;GLAST1;Excitatory amino acid transporter 1;Sodium-dependent glutamate/aspartate transporter 1;GLAST-1;Solute carrier family 1 member 3
遺伝子 ID	6507.0
SwissProt ID	P43003
免疫原	ヒト EAAT1 の合成ペプチド

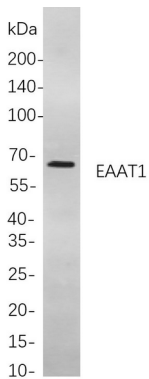
背景

細胞局在: 細胞膜。この遺伝子は、高親和性グルタミン酸トランスポーターファミリーに属する遺伝子をコードする。この遺伝子

は、中枢神経系における興奮性神経伝達の終結に機能する。変異はエピソード性運動失調症 6 型と関連している。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]

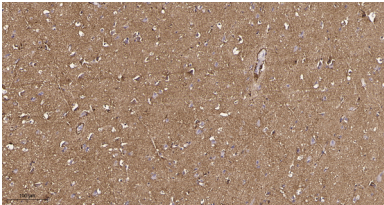
研究分野

画像データ

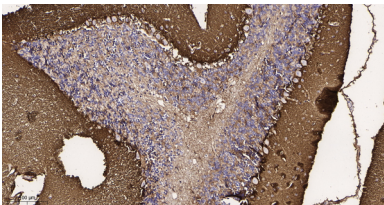


U-87MG 細胞のライセートのウェスタンブロット解析

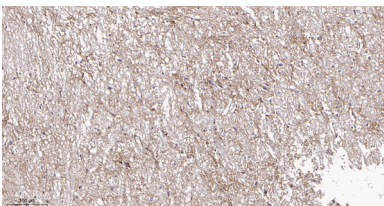
EAAT1 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、EAAT1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、EAAT1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、EAAT1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。